

衆議院国土交通委員会ニュース

平成 28.12.2 第 192 回国会第 7 号

12 月 2 日（金）、第 7 回の委員会が開かれました。

1 国土交通行政の基本施策に関する件

- ・石井国土交通大臣、越智内閣府副大臣、大野国土交通大臣政務官、根本国土交通大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

津 村 啓 介君（民進）

- ・気象庁による「24 時間先までの降水確率予報の精度（2012 年～2015 年 全国平均）」を見ると、降水確率予報と実際に降水のあった割合との乖離は 4 年間同じ傾向にあるが、今後、情報提供の在り方を見直すことについての大臣の考えを伺いたい。
- ・降水確率予報と実際値の乖離については、スーパーコンピューターの精度が高くなり技術が進歩しているので、予報官による社会的影響を考慮した判断をしないで、5%刻みの予報を導入するなど更に正確な情報を国民に提供すべきと考えるが大臣の考えを伺いたい。
- ・シップリサイクル条約の締結・発効に向けて、再来年の通常国会で関連の法整備が必要と考えるが、大臣の見解を伺いたい。

荒 井 聰君（民進）

- ・世界の学者が地震活動期に入ったと言っており、気象庁の業務の重要度が年々増してきているが、現在、日本のどこに地下のエネルギーが溜まり地震発生の可能性が高まっているのか。また、情報発信の際のスマートフォンの更なる活用及び地域の防災教育が重要だと考えるが、政府の見解を伺いたい。
- ・JR 北海道は先日、同社単独では維持困難な線区を公表した。国鉄分割民営化以降、道内人口の減少や高速道路の整備、札幌圏への人口集中等、同社を取り巻く状況が変化中、これらへの対応は同社のみならず、国や北海道庁にも責任があったと考えるが、今後の対応策も含めて大臣の考えを伺いたい。

村 岡 敏 英君（民進）

- ・高速道路の暫定二車線区間について、中央分離帯がラバーポールであることが正面衝突事故に繋がっていると考えられる。ワイヤロープ式防護柵であれば、衝突時に跳ね返ることで事故防止につながると考えるが、ワイヤ

ロープ式を含めた構造の検討の必要性及び今後の対策について大臣の見解を伺う。

- ・前大臣が提唱したインフラメンテナンスの継承及び社会資本の維持管理に対する大臣の見解並びに増大する維持修繕費の過去 5 年の推移について伺いたい。

本 村 賢太郎君（民進）

- ・無電柱化にあたって、夜間の地中化工事の安全確保に対してどのような対策を行っていくのか伺いたい。
- ・平成 28 年 11 月 9 日の未来投資会議構造改革徹底推進合合で、竹中議員が「諸分野における新たな社会に合わない規制の改革等」としてライドシェアを挙げているが、現在の検討状況について伺いたい。

清 水 忠 史君（共産）

- ・ホームと列車との隙間の危険性について大臣に認識はあるか。また、ホームと列車との隙間への転落・踏み外しの実態、件数を把握すべきではないか。
- ・JR 西日本の鳴野駅における隙間転落事案の発生件数はいくつか。また、鳴野駅における事案の発生状況を踏まえ、駅係員をラッシュ時だけでなく終日配置するよう指導すべきではないか。

本 村 伸 子君（共産）

- ・道路運送法及び貨物自動車運送事業法の一部改正案の成立により、疾病や障害を抱えたバスやタクシー等の運転者が解雇されるようなことはあってはならないと考えるが、認識を伺いたい。
- ・無電柱化の推進に関する法律制定後無電柱化を推進していくに当たっては、あらゆる場面で地域住民の意向が反映されなければならないと考えるが大臣の見解を伺いたい。
- ・自転車活用推進法案の基本方針として、「情報通信技術等の活用による自転車の管理の適正化」が定められている。

自転車の管理に当たりマイナンバーが利用されてはならないと考えるが政府の見解を伺いたい。

田村 貴昭君（共産）

- ・福岡市交通局七隈線延伸工事現場における道路陥没について、事故の重大性についての大臣の認識を伺いたい。また、犠牲者が出なかったことや早期復旧されたことで再発防止及び原因究明をあいまいにしないことについて大臣の決意を伺いたい。
- ・一連の工事で過去2回事故が起きているが、その教訓が生かされていない。事故現場が工事における難所であることを見落していたのではないか。設計変更に伴う、トンネル工事の位置関係及び工法の選定が事故の原因究明における重要なポイントになると思うが見解を伺いたい。

椎木 保君（維新）

- ・近年、ゲリラ豪雨や台風による大雨被害が相次ぐ中、今年には北海道や東北地方で甚大な被害が発生したことへの大臣の所感を伺いたい。また、被害を最小限に食い止める取組への大臣の決意を伺いたい。
- ・今年の台風と近年各地で記録的な大雨をもたらしているゲリラ豪雨の特徴や多発生の傾向など気象庁の見解を伺いたい。また、併せて温暖化による海水温の状況をどう分析しているのか伺いたい。また、ゲリラ豪雨については発生予測の開発研究（フェーズドアレー・レーダー）が実用化に近づいていると聞いているが、その見通しについて伺いたい。

中川 康洋君（公明）

- ・自動車安全特別会計から一般会計へ繰り入れられた約1兆1千億円のうち、約6千億円が繰り戻しされていない。同会計は自動車ユーザーからの自賠責保険の運用益等を財源としており、自動車事故の被害者対策・防止対策に活用されているので、早期の繰り戻しの必要性について見解を伺いたい。
- ・年内に策定される予定である観光インフラ整備プログラムを踏まえた、ポストサミットの着実な推進、旅館の洋室化等宿泊施設の整備及び無料公衆無線LANや電子マネー等の利用のための基盤整備や支援の拡充が非常に大事と考えるが観光庁の見解を伺いたい。

中村 裕之君（自民）

- ・平成27年関東・東北豪雨による鬼怒川の氾濫を受けた、堤防整備の強化方針の概要、進捗率及び投資額、また、昨今の豪雨災害の状況等を踏まえた流量基準や治水計画見直しの検討状況を伺いたい。
- ・高規格道路は構造上災害に強いため、災害時のリダンダンシーを確保するため、ミッシングリンクを解消し整備を加速すべきと考えるが見解を伺いたい。また、低金利の今こそ、建設国債を発行してでも機動的な財政出動で減災防災対策を進め、デフレギャップを解消して経済再生を確実にすべきと考えるが政府の見解を伺いたい。

2 無電柱化の推進に関する法律案起草の件

- ・西村明宏君外4名（自民、民進、公明、維新）から、起草案を成案とし委員会提出の法律案として決定すべしとの動議が提出され、提出者宮内秀樹君（自民）から趣旨説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもって起草案を成案とし、これを委員会提出の法律案とすることに決しました。
（賛成—自民、民進、公明、共産、維新、野間健君（無））

3 自転車活用推進法案起草の件

- ・西銘委員長から趣旨説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもって起草案を成案とし、これを委員会提出の法律案とすることに決しました。
（賛成—自民、民進、公明、共産、維新、野間健君（無））

4 議案の撤回許可に関する件

- ・道路運送法及び貨物自動車運送事業法の一部を改正する法律案（二階俊博君外3名提出、第190回国会衆法第51号）の撤回を許可することに決しました。

5 道路運送法及び貨物自動車運送事業法の一部を改正する法律案起草の件

- ・西銘委員長から趣旨説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもって起草案を成案とし、これを委員会提出の法律案とすることに決しました。
（賛成—自民、民進、公明、共産、維新、野間健君（無））

6 運転者への健康起因事故対策に関する件

- ・西村明宏君外4名（自民、民進、公明、共産、維新）から提出された運転者への健康起因事故対策に関する件の決議案について、提出者津村啓介君（民進）から趣旨説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもって、これを委員会の決議とすることに決しました。
（賛成—自民、民進、公明、共産、維新、野間健君（無））
- ・国土交通大臣から発言がありました。